

読書活動の推進について

加賀市教育委員会では、子どもの確実な学力向上のため、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力といった学習の基盤となる資質・能力のバランス良い育成を目指しています。

平成29年度以降、先進的にプログラミング教育を取り入れ、情報活用能力にとどまらず、言語で自分の考えを表現させることなどに取り組んできました。今後は、問題発見・解決能力の育成と充実を目的にSTEAM教育を推進しています。

さて、現在市内各小中学校では、朝読書、読み聞かせ、音読発表会、NIE（Newspaper in Education）などの読書活動により、子どもたちの思考力及び表現力を育むとともに読解力の向上等に取り組んでいます。

今年6月には加賀市読書活動推進条例が制定され、その中に学校や家庭への読書活動の推進と子どもたちの音読の推奨が謳われています。そこで、加賀市教育委員会と致しましては、学校や家庭において、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む環境づくりの機会として、教科書や図書館の本などに掲載されている名文や物語、詩、短歌等とともに、以下の参考資料を紹介し、活用していただきたいと考えております。

参考資料 ・「よみま将軍」

・「子供たちに声に出して読んで、覚えてほしい・書いてほしい作品集」

広島県教育委員会

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kotoba/sakuhinnsyuu.html>

【取組の例】

学校において

- ・定期的に帯タイムや終礼の時間帯、国語の授業で音読会を開催する。
- ・定期的（学期に1回）に全校で音読発表会を行う。
- ・帯タイムや終礼の時間帯、国語の授業に名文の音読や視写する。
- ・図書室の環境づくりと読書便りの発行で音読など読書活動の推進に努める。

家庭において

- ・毎月23日「読書の日」に、子どもの音読をゆっくりと聞いてあげ感想を話し合う。
- ・家族で読んでいる本の一部や名文を音読し、紹介し合う。